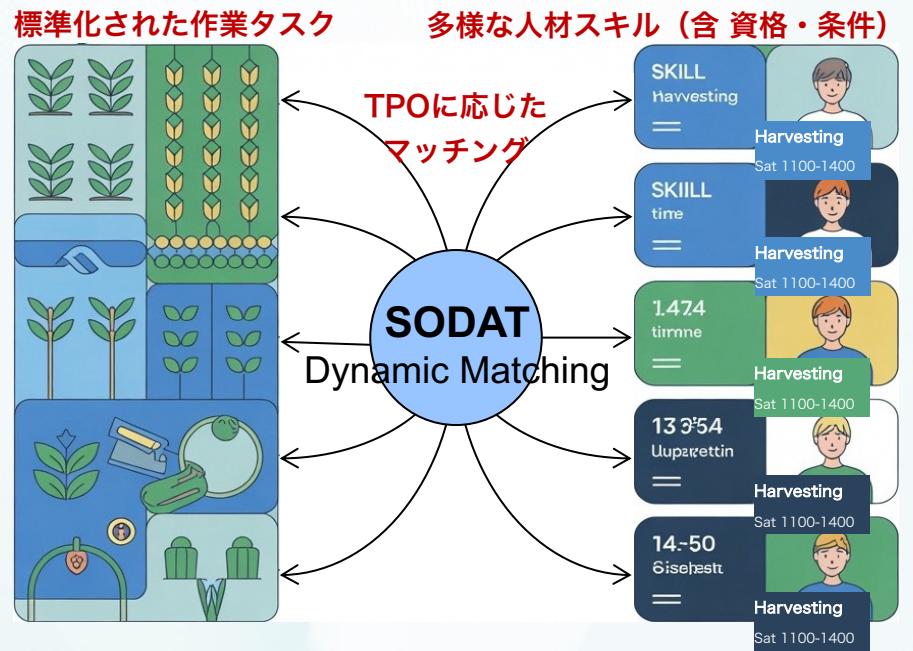


研究の背景

- 地域社会では、少子高齢化や都市集中により、農業・福祉・物流などの一次・二次産業を支える労働力が急速に減少
- 作業効率を高める点で有効であるスマート農業や自動化の取組に加え、「**人の配置と連携**」そのものを適切にマッチングする仕組みが強く求められている
- 地域に潜在する短時間労働力をデジタル上で可視化、農業現場で発生する多様なタスクとリアルタイムにマッチングすることで、労働需給のバランスを動的に調整することが可能
- AIとデータ連携を活用した動的マッチングシステムには、**地域社会における新しい労働循環と持続性の鍵**となることが期待される



SODATの新規性

- ドイツAgriCrew等、海外では 工程 × 資格に基づくタスクを重視する傾向
- 農業で想定される作業タスクに注目し、これらを標準化して整理、地元を中心とした多様な人材スキルを動的にマッチングさせることで、農業者・参加者の双方に満足度の高い仕組み提供が可能
- 「時間」ではなく「**タスク**」を基軸に「**スキル**」との動的マッチングを実現する、**SODAT : Situation Oriented Dynamic Agri-task Management**を開発、農業工程をタスク単位で可視化・標準化、登録者のスキル・資格・条件とのマッチングによって、農業現場における短時間労働力の確保と、地域の資源循環・人材循環を同時に促進

	AgriCrew	日本
分類軸	・ 職種 × 工程 × 資格	・ 作目 × 工程 × 作業
求人表現	・ 職種 (Job) に紐づく工程選択	・ 作業そのものを列挙
資格	・ トラクター・フォークリフト資格等	・ 資格要件は弱い
季節性	・ 非常に強い (アスパラ・いちごなど)	・ 強いが作目の幅が広い
表示項目	・ 体力レベル、安全要件、宿泊有無等	・ 未経験可、軽作業中心

栽培実証システム

- SODATシステムの実効性を確認する目的で、小規模な栽培実証システムを活用した、栽培および作業タスク管理システムを構築、運用
- 作業タスクについては、これまでに開発した AOITraceを活用し、今回仮に設定した**標準的な作業タスク (案)**をプリセットすることで、的確な作業タスク管理が可能 (試作中)
- 栽培状況に応じて次に必要とされるタスクを、事前に予測し発信できるよう、栽培環境および育成状況を適切に管理できる管理システムを構築
- 管理システムでは、センサ等の自在性を確保しつつ、運用上のコストと負担を軽減できるよう、できるだけ汎用品を活用し**オープンなアーキテクチャ**を採用

